



発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会長 杉浦 重治  
 編集 会報委員会  
 事務局 〒113-0023  
 文京区向丘1-11-18 向丘高校内



東京国立博物館 名誉顧問 小川力洋氏撮影

## 同窓会からのお知らせ

### 1. 同窓会総会 令和8年4月26日(日)

本年も昨年同様、総会に続いて懇親会を開催します。そのため場所は高校ではなく以下の飲食店です。高校で行う時のような在校生のアトラクションはありませんが、飲食を共にして歓談を楽しみましょう。

場 所：げんきまる駒込店  
 (北区西ヶ原1-55-27、TEL03-5961-5011)

JR駒込駅北口から徒歩5分

参加費：¥3,000

申込期限：3月末

受付：11:00～

総会：11:30～

懇親会：12:30～

閉会：14:30



### 2. 懇親ツアー

「豊洲市場散策～足湯とマルシェも～」

日 時：令和8年6月20日(土)

集 合：9:00

JR新橋駅汐留口改札

費 用：¥3,000(交通費とランチ代)

アルコールは自己負担、足を拭くもの持参

申込期限：3月末

### 3. ホームカミングデー (向陵祭)

令和8年9月5日(土)～6日(日)

場所は未定なので当日確認要

昨年の様子は8頁を参照

総合問合せ先 〒121-0831  
 東京都足立区舎人3-11-26 EPS  
 (株)同窓会事務局

TEL:0120-10-9899(内線77)  
 平日10:00～17:00(土・日・祝を除く)  
 FAX:0120-10-9184

# ご挨拶

## 会務運営にあたって



同窓会会長  
昭和四十年卒  
杉浦 重治

会員・学校・PTAの皆様にはいつも会務運営にご協力をいただきありがとうございます。

役員の方々のご協力、ご指摘を戴きながら会議を進め検討課題の進展解決に努めているところです。

また、同窓会・学校・PTA等との活動協力関係の強化推進についても議論しながら会務の運営を進めております。

今後とも会員・会員同士の交流、幹事会体制の整備、同窓会・同期会などの会員への十分な情報発信等の改善に努めて行きたいと考えています。

母校に於かれましても、校長先生をはじめ先生方におかれましては大変ご苦勞の多い状況に対峙されておられることと思われまします。同窓会としても可能な限り母校及び在校生への応援活動をして行きたいと思えます。

令和七年も、向陵祭に同窓会も参加出店致しました。会場は小会

議室から生徒達と並ぶ教室に代わりましたが、在校生・卒業生・進学を控えた親子等多くの方々に寛ぎ・歓談していただきました。次回も参加したいと思っております。

歴代会長が進めてきました同窓会財政の充実、会員名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方・PTAとの緊密な関係の継承、母校及び在校生への応援活動、同窓会ホームページの充実、同期会・クラス会・クラブのOB会開催を促し、会員相互の交流・親睦を図るため引き続き尽力を尽くして行きたいと思えます。

令和七年は、五月に懇親ツアーとして「小江戸水郷佐原散策」を企画実行しました。アヤマ水郷をボート回遊・散策、古き街並みの散策等楽しい一日を過ごすことが出来ました。

昨年と同じ繰り返しで恐縮ですが、同窓会運営に当たって現在大きな課題を抱えております。会員数の増加に伴う会報発行部数の増加、社会情勢の変化に伴う入会金の検討、年会費収入の伸び悩み。その為、収支のバランスに影響が出てきています。役員会としては早急に課題解消に努めて行かねばならず検討を重ねておりますが、皆様からお知恵・ご協力を頂き会務を進めてまいりたいと思いま

すので宜しくお願いいたします。

## ご挨拶



校長  
三藤 政義

緑深まる季節、同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、母校である向丘高校をあたたく見守っていただくとともに、多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度の向陵祭(文化祭)では、合唱部の発表で同窓生の方にフルート演奏のコラボレーションにご協力いただきました。夏休み中に三回ほど合同練習を重ねており、生徒たちは先輩方の温かいご指導のもと、安心して本番を迎えることができました。夏の暑い盛りのご協力を、重ねて深く感謝申し上げます。

現役生徒は、社会の様々な分野で活躍されている先輩方の姿を知ること、将来への夢や目標をより具体的に描くことができます。つきましては、今後、同窓会を通じて、生徒たちへのキャリア支援についてのお願いをさせていただきます。また、令和九年度には、本校は創

## ご挨拶



副校長  
加藤 隆弘

立八十周年を迎えます。来年度より、記念式典の準備に本格的に取り組んでまいります。生徒、教職員、保護者の皆様に加え、向丘高校卒業生の皆様と緊密に連携し、先輩方が築き上げてくださった母校を、さらに活気あふれる場所にしていきたいと考えております。皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平素より本校の教育活動に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

この一年間、「同窓会」の皆様のお力添えのおかげで、生徒は体育祭や文化祭を自分たちの手で創り上げる喜びを味わい、仲間と協力しながら課題を解決する力を育んできました。自動販売機の設置も、生徒自身が考え、話し合い、実現した取組です。こうした経験は、生徒にとって「自分たちで学校をよりよくできる」という自信につながっています。

これもひとえに、同窓会の皆さまが生徒を温かく見守ってください

っているおかげです。本当にあり  
がとうございます。

教職員と同窓会の役割は異なり  
ますが、私たちは、生徒に寄り  
添い、励ましながら学校への愛着  
を育み、希望ある未来に向け伴奏  
者としてともに歩んでいます。一  
方、同窓会の皆さまには、卒業生  
同士の絆を築き、本校の発展に寄  
与していただくという大切な役割  
を担っていただいております。

高校時代の良き友・良き思い出  
を胸に、卒業後もそれぞれの立場  
と環境の中で、自分らしく歩ん  
でいける—そんな心の故郷として  
「同窓会」が、さらにご発展される  
ことを願い、私も与えられた役割  
に微力ながら尽力してまいります。  
今後ともよろしく願います。

### 同窓生の広場

#### 昭和四十一年卒 三年C組クラス会

昭和四十一年卒

井澤 弘美

令和七年十月六日(月) 一年振  
りに昭和四十一年卒三年C組クラ  
ス会+αを上野の居酒屋で開催致  
しました。

今回は昨年の十二名を上回る十  
四名の参加となりました。久々に  
参加の友がおり、用事でどうし  
ても参加出来ない友がいました。中  
でもなにより嬉しかったのは初参  
加の友が二名いた事です。毎回十  
二名は確保したいと思っております  
ので安堵の喜びです。新たな友  
を探し電話してみました。連絡  
先が変更になっているのが残念で  
した。

これからも地道に連絡して行こ  
うと思います。  
参加の友はほとんどが仕事から  
離れ麻雀等趣味を楽しんでおりま  
すが、何人かは山登り、遠方旅行  
とかなりハードな日常を送ってい  
る友もおりました。  
今や人生百年時代、身も心も元  
気でいたいものです。



次回も沢山の友達と青春時代に  
戻り楽し  
い一日を  
過ごした  
いと思っ  
ておりま  
す。  
この記  
事を見た  
同期の皆  
様、同窓  
会事務局  
迄ご一報  
頂けると

ありがたいです。  
お待ちしております。

#### 昭和五十一年卒 七年ぶりの同期会



昭和五十一年卒

中郵 達夫

令和七年十月十八日、「グレー  
スバリ池袋店」で昭和五十一年卒  
の同期会を開催しました。卒業か  
ら四十九年、来年は節目の卒業五  
十周年ということもあり、六十七  
名が集まりました。

コロナ禍の影響もあり七年ぶり  
の開催となりましたが、「いつや  
るの：？」という待ちわびた声も  
多く、皆さんがこの日を心から楽  
しみにしていたことが伝わってき  
ました。ちなみに、その「いつや  
るの：」と言っていた方は会場一  
番乗りでした。

受付を済ませた途端に「あれ、  
全然変わっていないね!」「すぐ  
分かったよ!」と声が上がります。顔  
顔が次々に広がっていきます。顔  
を合わせると、当時のあだ名が自  
然に飛び交い、会場は一瞬で高校  
生の頃の空気に包まれました。

開会のあいさつ、乾杯と続き、  
宴会が始まると、高校時代の写真  
がスライドショーで映し出され、

「懐かしい!」「こんなのあったね」  
と歓声があちこちから。近況を語  
り合う中では、仕事を引退した人、  
まだまだ現役で頑張る人、趣味や  
推し活に夢中人、家族や孫の話  
に花を咲かせる人など、話題は尽  
きず、人の輪があちこちにできて  
大いに盛り上がりました。

卒業から四十九年。それぞれの  
人生に喜びもあれば苦しみもあ  
り、誰一人として順風満帆なだけ  
ではなかったはず。しかし、  
長い年月を重ねたからこそ生まれ  
る慈しみや寛容が自然とにじみ出  
ていて、そこには幾多の困難を乗  
り越えてきた「いい顔」が並んで  
いました。

青春とは、青春時代の忘れ物を  
互いにそと取り戻す時間なのか  
もしれません。久しぶりに同期の  
笑顔や声に触れると、白髪や体力  
の衰えを超えて、心の中に眠って  
いた青春がよみがえるのを感じま  
す。健康寿命という言葉を意識す  
る年齢になりましたが、こうして  
仲間と過ごすひとときこそ、何よ  
り貴重な宝です。

終盤には全員で記念撮影を行  
い、カメラに向かってみんな笑顔。  
その写真には、年月が流れて  
も変わらない仲間のつながりがし  
っかり刻まれていました。

あつという間の二時間半でした  
が、「また会おうね」「次は古希

で！」と声  
 が上がり、  
 名残を惜し  
 みつつ会は  
 お開きに。  
 次回、元  
 気に再会で  
 きる日を楽し  
 みにしてい  
 ます。今  
 回参加でき  
 なかった方  
 も、今回は、  
 ぜひこの幸  
 福なひとと  
 きを一緒に  
 過ごしまし  
 よう。



久しぶりの再会

昭和四十一年卒

尾道 郁代 (旧姓大橋)

浜松に着いた。  
 京都で暮らしている豊子さんの  
 年賀状に「会えるうちに会いた  
 いね」と書いてあった。

長い猛暑がすぎ涼しくなったの  
 で日帰りで浜松におちあつた。十  
 六年前二〇〇九年十一月に浜松で  
 花博があつた時會つて以来、東京  
 から三人京都から一人と四人で再  
 會した。花博会場がフラワーパ

クになつていて、そこに路線バス  
 で向かつた。四十分位乗つて、園  
 内を散策してそこで昼食をし、し  
 ばらくおしゃべりをしてすごし  
 た。又バスで浜松城に寄り、家康  
 の甲冑等を見て駅までバスで向か  
 う。

六時間位しか一緒にすごせなか  
 ったが、現在の自分自身の健康状  
 態、家族、兄妹の病氣等の問題を  
 かかえながら自分自身も年を重ね  
 ていること。さらに生き続けてい  
 く希望をかみしめて又の再會を約  
 束し別れた。新幹線の時刻もギリ  
 ギリセーフ！



お爺さんのフルートDUO

昭和四十五年卒

出川 敬

向陵祭に同窓会有志として同級  
 生の金子健二君と私の「お爺さん  
 のフルートDUO」は昨年に続い  
 て二回目の参加・演奏です。今年  
 は、三藤校長先生から合唱部との

コラボをやりませんかと誘われ、  
 内二曲は母校の現役合唱部の皆さ  
 んとフルートによるパート演奏で  
 コラボレーションしました。

初めての機会なのでとても緊張  
 しました。向陵祭の本番を前に、  
 事前打ち合わせや顔合わせを行  
 い、合唱部の顧問の先生のご指導・  
 監督の下、三回ほど音楽室で部員  
 の皆さんと練習し、その中でどの  
 ようにパート伴奏していくか先生  
 に指揮していただきました。リハ  
 ーサルを行い、本番当日は天候に  
 も恵まれ「光庭」(校舎中庭)で  
 明るい日差しを受けながら楽しく  
 演奏することができました。合唱  
 部の皆さんの歌声とピアノ演奏、  
 先生の指揮はとても素敵で一緒に  
 演奏出来てとても嬉しかったです。  
 顧問の先生からは「生徒も音  
 樂を通して人とのつながりを感じ  
 ることができたようです」と感想



をいただきました。  
 機会があれば再びコラボしたい  
 と思います。素直で明るい合唱部  
 の皆さんの今後のご活躍を祈念し  
 ています。ありがとうございます。  
 た。

デフリンピックに  
 参加して

昭和四十七年卒

佐々木 郁子 (旧姓遠野)

今年デフリンピックが東京で開  
 催された。

デフリンピックはろう者のオリ  
 ンピックといわれるもので、四年  
 に一度各国持ち回りで開催されて  
 いるが、東京での開催は初めてだ。  
 その歴史的な年に東京にいられる  
 ことを感謝してボランティアとし  
 て参加した。多くの応募者の中か  
 ら選抜されての参加なので張り切  
 って臨んだのだが、初日からつま  
 ずいた。

まず半年習った国際手話があま  
 り通じなかつたこと、加えて二十  
 年勉強し続けてきた日本語対応手  
 話もろう者にダメ出しされてばか  
 りで落ち込んだ。むしろ各チーム  
 に数人はいる健聴者と英語で通じ  
 あえたのがせめてもだった。

開会式の忙しさと言ったら、こ  
 れほど過酷なボラは初めてという



ものだった。交代要員がいなくての理由でほとんど休憩時間のない八時間活動、残り三日間活動できるか不安になった。夜の十時半に家に帰った時は疲労で顔が変わっていた。場所は東京体育館、紅葉の美しい季節だったが勿論紅葉をめでる暇もなく過ごし、多くの方とお話をして情報交換をし合ったことが今はとても懐かしい。帰りに手話単語を教えて欲しいと呼び止められることが度々あり、この大会がろう者の生活改善につながるかなと期待する。

ボラの他にサインエールという応援団の一員としても参加、他に見学者としても観戦した。デフリピックの拠点となっていたデフリピックスクエアでは、数々の新しい技術によるバリアフリー製品を知ることが出来た。技術の進歩で障害のバリアはなくなるの

かもしれないと未来に期待が広がった。  
障害は個性の一つと教わったが、やはり不便なことは確かだ。障害のバリアが少なくなるような技術がさらに開発されたらどんなに素晴らしい世の中になるだろう。なにしろ年を取れば皆障害者なのだから。

**還暦記念第二回 同期会**

昭和五十九年卒

千田 二仁江(旧姓樋口)

一年前の「会報やよい」で掲載された、還暦記念 第二回 同期会のお知らせ。おかげさまで、令和七年十一月二十三日、八年ぶりの同期会を開催することができました!!

第一回同期会では、全員に往復はがきを送り、百人を超える同期生と親交を再開することができました。

第二回同期会では、「会報やよい」のお力を借りながら、メールやSNSによる周知を図りました。初めのころは、返信数が伸びず会場確保も危ぶまりましたが、最終的には七十人を超える同期生と恩師が集まり、旧交を温めることができました。写真は、入学当時の美術・書道・音楽クラスに分



かれての記念写真です。(撮影後参加してくださった、社会科の草野先生もご紹介させていただきま

す。今回は、参加者全員にわずかな時間でしたが、自己紹介をしていただきました。前回、「どなたが出席しているか分からず、声を掛けにくかった。」という声が上がったからです。懐かしい同期生との語らいを期待し、出席して下さった皆さんが、出席してよかったですと思っただけではありません。幸いです。

三連休の中日を設定したため、参加が難しかった先生方や同期生も多かったようです。それでも、初参加の方も多く、繋がりが広がりました。是非、この会をきっかけに少人数での親交を深め、第三

回同期会に繋がれることを期待しています。

また、各幹事も名簿を整えるために努力しています。第二の人生を愉しんでいるころ、もう少し気軽に参加出来る会を企画する声も上がっています。今後も、メールやSNSによる周知を中心に行っていこうと思っております。随時ご連絡をお待ちしております。

【gaoka.s59.3@gmail.com】

改めまして、第二回同期会開催に際し、恩師の皆様、運営や周知にご協力いただいた同窓会役員や同期の皆様、出席・欠席に関わらず返信して下さった皆様、会を支えてくださったKKRホテル東京のスタッフの皆様、そして幹事の皆様、深く感謝申し上げます。

# 1101五年の 【向丘五十五年会】

五十五年会今年も活動開始です!!

三月九日和光市民ロードレースにて世話人会全員参加でマラソン終了後に春イベントの日程・企画の打合せです。

今年の春企画は昨年、五十五年会グループLINEの仲間へ三択でアンケートを募集した中で、次選だった『港町横浜・中華街巡り』に決めていましたが、世話人会の皆に同意を求め決定しました。(実のところ昨年暮れの忘年会で横浜居住の仲間へは協力をお願いしていました。はじめのうちは新井くん(ライタ)から声掛け、日時行程等々連絡とっていただき、六月二十九日(日)に決定!その後は横浜居住の「横浜レディース」の方々がプライベートの時間をさいていただきながら、三月から現地



視察を繰り返し、『港町横浜』を代表する観光スポットをチョイスしてくれました。そのスケジュールをグループLINEに募ったところ十七名の参加に(ほぼ最終スポットから中華街参加二名含む)。

日程的に梅雨の時期で雨降りが懸念されていましたが、企画していただいた「横浜レディース」のおかげだと思えますが、天候に恵まれ最高のイベントでした。感謝に堪えません!本当に有難うございました。

締めくくりはやはり十二月二十九日の会(忘年会)です。

五十五年会グループLINE(七十一名)中心に声かけして二十六名の仲間たち(内二名が初参加!)が集まり、今年も古き良き仲間たちと笑みがこぼれる楽しいひと時を過ごせました。

いつも気楽に語り合える【向丘五十五年会】はほっとする憩いの場の集まりで、かけがえのない大切な会です。毎年人数や参加する



仲間が変動しますがこの会はずっと継続していきたいと思っておりますので、ご都合あえばお気軽にご参加いただけたら幸いです。

このやよい会報誌をお読みください。

同期生の皆さまへ  
こちらの会に参加してみませんか。左記アドレス迄お気軽にご連絡ください。

向丘五十五年会

発起人 浦野 良一  
【ru0316cmt@gmail.com】

## 新役員のご紹介

### 同窓会への想い

昭和四十六年卒

相談役 恩村 一郎

高校を卒業して既に五十年以上の月日が流れました。母校への懐かしさから、年に一度の同窓会へ足を運び始めたのがきっかけで、今回役員の一人としてお手伝いさ



せて頂くことになりました。

とはいえ住まいは札幌。現在も保育園の理事長職をはじめ、町内会長さらにはスポーツ競技団体の会長等の役割を担っているため、常に毎回役員会に出席とはいきませんが、少しでも同窓会活動のお役に立つことができれば...との思いでいます。

もともと親の仕事柄、転勤が多かったため、転校することなく卒業出来たのは高校が初めてで、それ故「向丘」には人一倍愛着があります。良き友達ができ、陸上競技という素晴らしいスポーツと出会うなど、一番多感な時期を過ごした高校時代を振り返りつつ、その後の学生生活、社会人生活での様々な経験等を、同窓会活動を通して在校生の皆さんに伝え、将来へ向けての糧として頂けるような、そんな取り組みが出来れば何よりの喜びです。どうぞよろしくお願ひします。

この会報が皆さんのお手元に届

く頃、北の都札幌は百花繚乱の季節を迎えます。

同窓会役員をお受けして



昭和四十二年卒  
相談役 菅 完治  
(旧姓斎藤)

昨年五月に駒込の元氣丸で行われた同窓会総会に久しぶりに参加した際に、諸先輩に誘われて役員末席に加えて頂くことになりました。

向丘高校に入学したのが一九六四年、前の東京オリンピック開催年あたり体育の授業はすべて行進の練習にやりました。これはオリンピック開会式の予行演習に選手団のかわりに出場するため、旧国立競技場のアンツーカーのグラウンドをオーストラリア選手団として、学生服を着て行進したことは今でも鮮明に記憶しています。また三年生の一九六六年六月に、ビートルズが初来日し日本武道館でのライブが実現、日本中大熱狂するなど、目まぐるしく変化し活気に満ちた時代に高校生活を送らせていただきました。

高校を卒業後青山学院大学経営学部へ進学、この頃は全共闘という学生運動が吹荒れ、三年次は学生によるバリケード封鎖に続き、

大学側が機動隊を導入し、構内での授業が行われず全てレポートで単位を取得するという誠に波乱に満ちた大学生活でした。

一九七一年に卒業、㈱読売旅行へ入社し二十八年間勤務、ツアコンとして日本国内はもちろん多くの海外へも行かしていただきました。その後早期退職制度により退社、賃貸不動産管理業界へ転身し、現在地元の「谷根千」地域で古民家を再生しカフェやアクセサリーショップなどへ貸し出す仕事をやっております。この古民家再生事業が評価され、昨年六月に国交省の不動産業アワード優秀賞を受賞いたしました。

また比較的時間ができたので、ボランティア活動に参加し文京区青少年員や民生児童委員を歴任し、この十年間は地元の町会会館を使つてのこども食堂の運営にも関わっています。この食堂にはボランティアとして、多くの高校生、大学生が参加してくれ、自分の子どもより若い方々との接触により、いつばい元気をもらっています。

このたび、同窓会役員を務めさせていただくことになり、先輩方が築いてこられたつながりを大切にしながら、世代を超えて交流できる同窓会づくりに、少しでもお役に立てればと考えております。

昭和四十五年卒業生へ  
第十三回同期会開催のお知らせ

前回の同期会から早二年が経過しました。今回は中庭のある隠れた的な雰囲気の中でたつぷりと時間をとって皆様の会話が弾むシチュエーションの中での開催です。皆様の奮ってのご参加と再会を楽しみにしております。

幹事一同

一、開催日時

令和八年十月二十四日(土)

十二時より

二、開催場所

Oriente Gate (オリエントカフェ)  
東洋文庫併設  
文京区本駒込二の二十八の二十一  
☎03(3915)0400  
アクセス

JR駒込駅、東京メトロ南北線駒込駅より徒歩八分

または都営地下鉄  
三田線千石駅より

徒歩八分

三、会費一万円

四、申込み方法

後日ご案内の葉書を郵送致しますので出欠を返信ください

五、問い合わせ

代表幹事 小高和敏

☎03(3916)0495

☎090(1030)8070



同窓会総会報告

今回は母校ではなく、以前も何度か利用させて頂いた飲食店での開催となりました。母校ではないので現役生たちのアトラクションはありませんが、コロナ禍で中断していた久しぶりの、飲食を共にして歓談できる時間となりました。

飲食店のお部屋なので、あらかじめ用意されていたお食事を前にしての総会は、やや落ち着きに欠ける雰囲気でしたが、早く乾杯をしたいという多くの意識に押されて、滞りなく速やかに令和六年度の事業報告、決算報告、また令和七年度の事業計画、予算案共に満場一致で承認されました。

その後、続いた懇親会は、笑顔いっぱい、の歓談が続きました。母校で開催した時よりも多くの参加者があったことは予想通りでした。



# やよい会懇親ツアー「小江戸水郷佐原散策」

やよい会役員幹事長

二〇二五年度は五月二十五日(日)関東三大小江戸の一つでもある昔ながらの風情が楽しめる佐原の街並みとこの時期から開催されるあやめパーク祭り(百五十万本の花菖蒲(あやめ)が咲き誇る)「水郷佐原あやめパーク」をメインに佐原観光協会より資料を取り寄せ、計画を立てました。

当日七時三十分と早めでしたが京成上野駅に十二名の方がご参加集合いただき、佐原へ出発。

先ずはシャトルバスで「あやめパーク」へ、意気揚々と向かいましたが：

今年は開花が例年よりかなり遅く、どこに咲いているの?というくらい一分咲き位で出鼻をくじかれましたが園内を優雅に舟巡り、自然に癒されました。

次に佐原へ、昔ながらの江戸情緒あふれ



る街並みを散策、なかでも日本で初めて実測による全国地図を作った「伊能忠敬」氏の旧宅と記念館では一八〇〇年五十五歳から測量はじめ一八一六年七十一歳迄全国安行して実測、作り上げた地図や国宝指定の関係書類が展示されていて圧巻でした。その後昼食は蕎麦ご膳を美味しくいただき、ほっと一息。

昼食後は引き続き、街並み散策組と初代神武天皇の御代に創建されたと云われている、国家鎮護の神として神宮の御称号(江戸期までは伊勢・香取・鹿島のみ)を以って奉祀されている「香取神宮」組の二班に別れ散策しました。

佐原までの所要時間が長かったのですが思い出に残る会でした。次年度はもう少し近い所で開催したいと思っておりますので、ご都合があれば是非ご参加いただけますと幸いです。



# ホームカミングデー(向陵祭) 令和七年九月六日(土)〜七日(日)

昨年までずっと母校一階小会議室を使わせて頂いていましたが、本年は四階二年七組の教室を使わせていただくことになりました。

広すぎることで、制服の展示がないことで、展示物が足りないのではとか、来場者があるだろうかと不安を抱えた当日、予想に反して生徒たちのクラス巡りの続きとして多くの生徒や保護者の方々が来場されました。

用意していた飲み物が足りなくて、午後からの担当者に追加で購入してきていただいたほどです。

角の教室だったため、中庭の音もあまり入らず、ここは静かで落ち着けるとゆっくりして行かれる方もいらっしゃいました。来年はこの場所になるか分かりませんが、どこになっても同窓会らしい展示で皆様をお迎えたいと思います。



# 同窓会役員名簿

令和8年1月31日現在

役職名	氏名	卒業年
顧問	新城 昇	歴代校長
〃	北村 透	〃
〃	北村 正生	〃
〃	石井 隆夫	〃
〃	戸谷 賢司	〃
〃	前 蘭 実	〃
〃	関 根 茂	〃
〃	神 能 精一	〃
〃	栞 原 爾	〃
〃	加 藤 孝行	〃
〃	瀧 本 秀人	〃
〃	赤 嶺 治	〃
名誉会長	三 藤 政義	校 長
名誉顧問	小 川 力洋	31年卒
会 長	杉 浦 重治	40年卒
副 会 長	中村 恵太郎	45年卒
副 会 長	尾 道 郁代(大橋)	41年卒
幹 事 長	浦 野 良一	55年卒
書 記	佐々木 郁子(遠野)	47年卒
〃	今井 美代子(清水)	61年卒
会 計	笹 山 幸子	46年卒
会 計 監 事	浅 野 雄一	55年卒
〃	井 上 芳子	40年卒
相 談 役	川 端 春生(三橋)	31年卒
〃	田 中 正 明	36年卒
〃	恩 村 一 郎	46年卒
〃	菅 完 治(斎藤)	42年卒
事 務 局	加 藤 隆 弘	副校長

## ◎役員を募集しています◎

下記総合問い合わせ先にご連絡下さい。

### 各期幹事

- 星 直正 29年卒
- 友部 佳子(立川) 35年卒
- 谷嶋二三男 41年卒
- 戸部 実 44年卒(minprutobeadress@gmail.com)
- 佐川 海道 47年卒
- 斉藤 明良 48年卒
- 千田二仁江(樋口) 59年卒(gaoka.s59.3@gmail.com)
- 浅野 悠樹 H21年卒
- 横山 李孝 H11年卒(soutakento@gmail.com)

### クラブOB会世話人

- 軟式テニス部 谷嶋二三男 41年卒  
f-tanisma@ac.auone\_net.jp
- テニス部 長谷川広之 51年卒  
h09089490725@mopera.net
- サッカー部 仙谷 剛 45年卒  
tsuyoshi.senya@gmail.com
- フォークソング部 牛島 秀樹 57年卒  
syc001ac@gmail.com
- ラグビー部 井上 功 54年卒  
isaoinoue4859@gmail.com



役員会風景

## 総合問い合わせ先



TEL: 0120-10-9899 (内線77) 平日10:00~17:00 (土日、祝日を除く)  
 FAX: 0120-10-9184 (終日受付)  
 HP: <https://egaomax.com>

### 計 報

- 旧職員 吉田 秀男 R6.9.17
- 旧職員 木津 淑子(木内) R6.4.8
- 昭24年 田口 延子(小窪) R6
- 昭25年 妹尾 良子(新倉) R6.12
- 昭25年 遠山 孝子(荻野)
- 昭25年 原 久枝(鎌田) R5.10.6
- 昭26年 村井 百子(山内) R7.1.6
- 昭27年 梶原 愛子(新妻) R6.6.3
- 昭27年 青木 敬(植木) R6.6.22
- 昭28年 小菅 利彦 R6.12.25
- 昭28年 小林 孝子(江川) R6.10.26
- 昭28年 大沢 房子(北岡) R7.3.29
- 昭28年 杉田 静江(内田) R3.1
- 昭29年 林 廣司 R6.12
- 昭29年 阪田 律子(阪田)
- 昭29年 田村 美代子(浜田) R6.9.16
- 昭30年 利根川 幸也 R6.9

- 昭30年 白田 久仁子(神田)
- 昭30年 高橋 喜久江(水野) R6.7.3
- 昭30年 川崎 輝行 R6.4.29
- 昭30年 浜田 祐功
- 昭30年 望月 栄子
- 昭31年 長島 路得子(箕口) R6.9
- 昭31年 林 敬三 H27.9.13
- 昭31年 山本 越子(福永) R7.3.31
- 昭31年 石川 継博(池田) R7.9.9
- 昭31年 森脇 久仁子(小田) H25
- 昭32年 加藤 美智代 R4.6.5
- 昭34年 増田 千鶴子(荻野) R6.8.26
- 昭34年 名越 千歳(河野) R6
- 昭36年 幡谷 誠 R6.8.26
- 昭36年 竹本 美智代(龍谷) R6.12.18
- 昭37年 小川 浩美 R5
- 昭37年 鈴鹿 裕美子(斎藤) R6.11.11

- 昭37年 柴田 道子(柏田) R6.11.4
- 昭39年 松岡 克二 R6.8.31
- 昭42年 千田 正穂 R7.10.22
- 昭42年 高野 一義 R7
- 昭43年 福島 恵美子(高島) R6.3.6
- 昭44年 組橋 幹生 R6.4.27
- 昭45年 藤田 真也 R6.12
- 昭49年 芝崎 真理子(山平) R7.1.19
- 昭51年 関 治雄 R6.2.8
- 昭52年 斎藤 東彦 R6.3
- 昭53年 河原 一弘
- 昭53年 江野沢 礼子(加久田) R7.3.6
- 昭53年 吉田 令子(萩沢) R6.10
- 昭59年 武藤 明 H19.11.20
- 昭63年 山口 健次 H30.3